

## (6) 学校教育学部

## ① 入学者選抜

## ア 運営・活動の状況

## i) 委員会等の開催状況

入学試験委員会を16回開催した。また、学部入学者選抜に関して4つの専門部会を合計12回開催した。

このほか、入学者選抜方法検討ワーキンググループ（学部・大学院共通）を6回開催した。

## ii) 審議された主な事項

学部入学者選抜方法の概要の策定、学校推薦型選抜・一般選抜等の実施計画の策定・実施、学生募集要項等の作成、合否判定基準・合否案の作成、大学入学共通テストの実施、令和8年度学部入学者選抜方法について審議した。

また、入学者選抜方法研究専門部会において、入学者選抜に関する追跡調査により比較・分析した結果を、「令和6年度入学試験委員会入学者選抜方法研究専門部会報告書」として取りまとめ、学内に公表した。

## iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

## ○ 令和8年度以降の入学者選抜方法の見直しに伴う対応

令和8年度学部入学者選抜方法にあわせて、令和8年度以降の入学者にかかるアドミッション・ポリシーの改正を行ったほか、令和8年度入試から導入される総合型選抜（Ⅰ型）及び総合型選抜（Ⅱ型）の概要（改訂版）の予告・公表を行った。

また、総合型選抜に係る専門部会をそれぞれ設置した。

## ○ 入学者選抜方法の妥当性及び信頼性の検証

入学者選抜方法研究専門部会において、平成27年度から令和2年度にかけて入学し、平成30年度から令和5年度にかけて卒業した学生を対象として、推薦入試、一般入試（前期日程・後期日程）の各入試による入学者間の学内成績の比較や教員採用試験の受験状況（教員採用試験の合否状況を含む。）と入試成績との関連を検討した結果を示した。

また、令和2年度入学者のうち、令和5年度に卒業した学生を対象として、推薦入試及び一般入試（前期日程・後期日程）の各入試による合格者の入学後の学内成績について、比較・分析した。

## ○ 大学入学共通テスト実施に向けた取組

大学入学共通テストでは、試験実施上のミスやトラブルは再試験など受験者に多大な影響を与えることから、大学入試センター及び上越市内の関係機関等との連携・協力を密にし、円滑な実施に向けた取組を行った。

具体的には、令和7年度大学入学共通テスト監督業務等に関わる全ての教職員に対する説明会において、新学習指導要領による出題と経過措置に伴う対応及び監督業務を行う上での留意点等に関する周知徹底と欠席者に対する個別説明の実施及びリスニング試験における演習の実施並びに学内連絡体制や実施マニュアルの再点検、整備等を行った。

○ 大規模災害で被災した受験者への特別措置

大規模災害で被災した志願者の進学機会を確保する観点から、前年度に引き続き、東日本大震災等により被災した当該志願者の入学試験に係る検定料を全額免除とする特別措置を実施した。

**イ 優れた点及び今後の検討課題等**

大学入学共通テスト及び個別入試において、ミスのない正確な入試を実施するために全学的な連携体制の下で万全を期した結果、無事に実施することができた。

また、令和8年度以降の学部入学者選抜方法の見直しに伴い、令和8年度以降の入学者に係るアドミッション・ポリシーの改正を10月に行ったほか、令和8年度入試から導入される総合型選抜（Ⅰ型）及び総合型選抜（Ⅱ型）の概要（改訂版）の予告・公表、さらに両選抜に係る専門部会を11月に設置した。

なお、学部入試においても学校推薦型選抜の志願者数は減少傾向にあることから、大学院入試と同様に定員充足に向けた志願者数の増加のための取組を、積極的かつ効果的に行っていく必要がある。